

平成30年度地域づくりハンズオン支援事業 (共創イベント型)

支援対象団体取組概要

1. 宮古観光創生研究会（岩手県宮古市）
～観光の担い手の創造と連携で三陸の暮らしを誇りに～
2. 特定非営利活動法人 移動支援Rera（宮城県石巻市）
～安心して生き抜く地域をつくるための公共の再構築プロジェクト～
3. 小町温泉組合（福島県田村郡小野町）
～福島県の中山間地域活性化のモデルをめざす「大地の泉」復活・創生プロジェクト～
4. 大堀相馬焼 松永窯（福島県広域）
～オープンイノベーションを活用した新しい概念の産地・仕組みづくり～

1. 宮古観光創生研究会（岩手県宮古市）

～観光の担い手の創造と連携で三陸の暮らしを誇りに～

① 取組背景・地域課題	② 支援体制				
● 道路整備やフェリー就航など交通インフラの変革が起こっている一方で、ストロー現象に対応する具体的な策は見出せておらず、地域間の連携も円滑に行われていない。 ● 観光のニーズは他律的から自律的へ、発地型から着地型へ変化し多様化している反面、多様な観光の担い手がまだまだ少なく、地域に暮らす人々の観光へのかかわり方も含め、変化が必要。また担い手を繋ぎ、安定的に提供する仕組みもない。	<table><tr><td>コーディネーター (支援事業者)</td><td> ・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社 </td></tr><tr><td>外部専門家 連携団体等</td><td> ・ みやっこベース ・ イーリゾート 鈿持勝氏 ・ 三陸DMOセンター北田耕嗣氏 ・ ariTV株式会社 佐藤貴之氏 </td></tr></table>	コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社	外部専門家 連携団体等	・ みやっこベース ・ イーリゾート 鈿持勝氏 ・ 三陸DMOセンター北田耕嗣氏 ・ ariTV株式会社 佐藤貴之氏
コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社				
外部専門家 連携団体等	・ みやっこベース ・ イーリゾート 鈿持勝氏 ・ 三陸DMOセンター北田耕嗣氏 ・ ariTV株式会社 佐藤貴之氏				

③ 本事業の目的と取組内容

地域で暮らす若者が、自らの創意工夫により、
宮古市内での着地型観光を生活やなりわいの一部として取り込むことで、
誇りと生きがいを持てる地域とする

取組① 地域向けの観光業学習の カリキュラムづくり	取組② 若い年代を対象とした 学習サイクルの確立	取組③ 広域連携による 着地型観光のモデルづくり
⚡ 地域の若者が観光業に関わるために必要な知識や考え方を習得できる学習カリキュラムを策定 ⚡ 元々観光を専業としない人も学べる仕組みとして想定し、現業への観光の取り込みや新たな活動や起業なども視野に入れた構成にて検討 ● 専門家を交え、学習カリキュラムを開発 ● 既存施策との整合性確認・調整 ● [KPI] カリキュラムの策定（β版）	⚡ （共創イベント）若者が観光業を学び、創意工夫でコンテンツ開発を行える学びと実践の場を考案 ⚡ 市内学生も対象とし、地域での人材育成としてのモデルを考案 ⚡ 大型客船寄港を契機する実践の場づくり ● 継続可能な学習（座学ワーク・実践の場）の仕組みづくり ● 市内学生の参加機会の創出 ● アイデアの実践とフィードバック ● [KPI] 共創イベントの参加者（25名） ● [KPI] 観光創生塾開催（2回以上） ● [KPI] 観光創生塾成果発表会開催（1回）	⚡ 気仙沼までを視野に入れた三陸の広域連携のあり方を検討 ⚡ 宮古～室蘭便のフェリー就航に伴う室蘭との連携のあり方を検討 ● 広域での情報・意見交換や連携模索のための交流機会の創出および継続 ● [KPI] 三陸広域での観光関係者の意見交換会開催（1回以上）

2. 特定非営利活動法人 移動支援Rera（宮城県石巻市） ～安心して生き抜く地域をつくるための公共の再構築プロジェクト～

① 取組背景・地域課題

- 震災後、まちの状態変化に即した公共交通（バス等）ルートのアップデートや適当な移動支援が不足しており、移動手段を持たない支援が必要な住民が社会から切り離されつつある。
- 自治体や地域住民は支援が必要な住民の存在に気付けなかったり、「自分ごと」として認識できておらず、地域で支え合う仕組みが構築できていない。（支援の手は少なく、支援できる範囲には限界がある）

② 支援体制

コーディネーター
（支援事業者）

外部専門家
連携団体等

- ・ 株式会社フィラメント
- ・ NECソリューションイノベータ株式会社
- ・ オープンデータを保持している、もしくは、データ分析力のある団体、自治体、大学などと連携予定

③ 本事業の目的と取組内容

Reraが蓄積してきたノウハウや利用者データ等を整理し、公共データ（福祉・医療データ等）と照らし合わせることで、地域で必要となる支援の規模を測る「ものさし」を作成。

「ものさし」を活用し、地域課題を見える化することで、「自分ごと」として応援する人を増やす。

取組① これまでの活動から見える地域課題の整理と「ものさし」案の策定

- 多様な専門家を交えディスカッション・分析できるよう、個人情報が含まれるRera保有のデータを匿名化
- Reraのノウハウ・匿名化データと公共データ等から分析される、宮城県石巻市に内在する地域課題の整理と、地域の移動困難者発生リスクや必要な支援に要するコスト等が見える化できる「ものさし」案を策定
- 本年度取得予定のアンケート項目を精査し、取得したアンケート結果を活用することで、地域の各エリア毎の暮らしやすさ（暮らしにくさ）を測る「ものさし」案へ機能追加・精度向上

- Reraの保有データを匿名化、ノウハウの整理
- 組合せ可能なデータを選出、利用準備
- データ分析から地域・社会課題を発見
- 地域を測る「ものさし」案の策定
- [KPI] 「ものさし」素案策定

取組② 地域外での「ものさし」の検証と共助を生む仕組みの検討

- （共創イベント）取組①の「ものさし」を石巻市以外でも検証するとともに、精度向上を目的としたデータソンイベントを実施
- （共創イベント）地域課題に対して、広く無理なく地域内外で共助が可能となる仕組みのアイデアを創出

- 地域外での「ものさし」素案の検証
- 「ものさし」素案の精度向上
- 共助を生む仕組みの検討
- [KPI] アイデアソンの参加者（15名以上）
- [KPI] データソンの参加者（15名以上）

取組③ 共助で課題解決に向かう風土の醸成

- 取組②関連地域との連携強化と他地域への横展開により、取組の認知度を向上させるとともに「ものさし」の継続的な精度向上を実現
- 「ものさし」や共助の仕組みを石巻市に持ち帰り、地域課題をより精度高く見える化するとともに、共助での課題解決に向かう風土を醸成

- 共創イベント開催エリアと連携強化
- 他地域への横展開
- 「ものさし」の継続的な精度向上
- 石巻市で共助を生む風土の醸成
- [KPI] 「ものさし」の更新と活用施策の策定（各1回以上）

3. 小町温泉組合（福島県田村郡小野町） ～福島県の中山間地域活性化のモデルをめざす「大地の泉」復活・創生プロジェクト～

① 取組背景・地域課題	② 支援体制				
● 震災後、源泉を利用していた旅館の廃業・建物の撤廃に伴い、源泉が噴き出す姿が露わになったものの、地盤が軟弱で大きな建物が建てられないほか、権利関係も絡み、有効な将来像を描けていない。 ● 地元での協議では、ステレオタイプや無いものねだりの意見が多く、将来を見越した価値創出や地域資源活用、自立した管理・運営を構想する力が不足している。	<table><tr><td>コーディネーター (支援事業者)</td><td> ・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社 </td></tr><tr><td>外部専門家 連携団体等</td><td> ・ ラストワンスマイル田中直史氏 ・ ハバタク丑田俊輔氏 ・ 須子善彦氏 </td></tr></table>	コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社	外部専門家 連携団体等	・ ラストワンスマイル田中直史氏 ・ ハバタク丑田俊輔氏 ・ 須子善彦氏
コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社				
外部専門家 連携団体等	・ ラストワンスマイル田中直史氏 ・ ハバタク丑田俊輔氏 ・ 須子善彦氏				

③ 本事業の目的と取組内容

「大地の泉」の活用を通じて地域での多様な活動を、
地域内外の人々に向けて促進し、交流人口・関係人口の拡大を
はかり、地域の活力向上のシンボルを確立する

取組① 地域外の人々の 関わりの創出	取組② 地域で暮らす人々への 多様な活動の促進	取組③ 「大地の泉」をシンボル としたイベントの実施
⚡ 小野町および小町温泉に関心を持つ地域外の人々の興味を喚起 ⚡ 現地でのフィールドワーク等との連携により、地域内の人々との協働・連携による活動創発を促進	⚡ 小野町の地元住民に対する理解促進および活動を起こす動機づけとなる対話の場の創出 ⚡ 個人あるいは有志のグループで自由かつ闊達な活動を創発および継続するためのサイクルの確立	⚡ 地域内外の参加者を対象としたイベントの実施 ⚡ 「大地の泉」をシンボルとした活動を自由に考え、表現できる場とする
● 東京での情報発信（Fw:東北Weeklyの活用） ● 小野町「湧く沸く会議」（小町温泉組合主催）との連携 ● [KPI] 共創イベントの参加者（15名[地域内外含む]）	● 対話の場の創出 ● 地域の人々を対象とした自分自身を起点としたプロジェクトの実施（湧く沸くスクール） ● [KPI] 湧く沸くスクールの開催（3回以上）	● 地域内外の参加者を対象としたアイデア創発・交流促進につながる企画の実施（湧く沸くラボ） ● [KPI] 年度内に今後の活動促進のための動画完成（動画1本以上）

4. 大堀相馬焼 松永窯（福島県広域）

～オープンイノベーションを活用した新しい概念の産地・仕組みづくり～

① 取組背景・地域課題	② 支援体制				
● 窯元が被災地から各地へ離散したことで、横の連携が取りにくく、各窯元が各地で個別最適化した再興を進める状態となっており、地域・関係者が一丸となった産業・地域活性化に取り組めていない。 ● 売上や担い手を増やすための取組を始めているが、地域全体の総意として行われていないため、仕組みとして定着せず、新しい担い手参入の機会損失となることが予想される。	<table><tr><td>コーディネーター (支援事業者)</td><td> ・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社 </td></tr><tr><td>外部専門家 連携団体等</td><td> ・ 会津大学 ・ 一般社団法人WAZAtoBA ・ 伝統工芸品または工程の分業化に精通している専門家 等 </td></tr></table>	コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社	外部専門家 連携団体等	・ 会津大学 ・ 一般社団法人WAZAtoBA ・ 伝統工芸品または工程の分業化に精通している専門家 等
コーディネーター (支援事業者)	・ エイチタス株式会社 ・ NECソリューションイノベータ株式会社				
外部専門家 連携団体等	・ 会津大学 ・ 一般社団法人WAZAtoBA ・ 伝統工芸品または工程の分業化に精通している専門家 等				

③ 本事業の目的と取組内容

大堀相馬焼の伝承を家業から新たなシステムに切り替え、
時代に即した伝統工芸の繁栄の土台をつくる

取組① 担い手増殖に向けた 地盤づくり	取組② 大堀相馬焼継承の ガバナンスの確立	取組③ 「伝統工芸品」での キャリアのオープン化
⌘ 大堀相馬焼の製造工程を再整理するとともに、担い手増殖に取り組んでいる他業種の事例・仕組みを調査 ⌘ （共創イベント）新規参入や分業制を活用することで、家業の継承であった大堀相馬焼において、担い手が確保しやすい仕組みを検討	⌘ （共創イベント）焼き物や塗り物などの伝統工芸に関係する方など、多様な参加者を集めて、担い手のキャリアステップが見える化する仕組みを検討 ⌘ 見える化の仕組みについて、既存の窯元も含めてのブラッシュアップと合意形成	⌘ 新たに作り出す大堀相馬焼のキャリアの見える化モデルを、担い手不足に悩む全国の伝統工芸へオープン展開 ⌘ 担い手から見た場合の必要要素も考慮し、これからの「伝統工芸品」に求められる受け入れ体制の提言等を整理
● 製造工程の再確認と担い手増殖の取組事例・仕組みの調査 ● 大堀相馬焼への新規参入方法・分業方法の検討 ● [KPI] 他業種の調査（5業種以上） ● [KPI] 共創イベントの参加者（25名）	● 見える化の原案策定・ブラッシュアップ ● 見える化案の導入に向け、合意形成 ● [KPI] 原案策定会議開催（2回以上）	● 担い手確保を軸にした伝統工芸の受け入れ体制、情報の見える化のロールモデルを作成 ● 提言のとりまとめ ● [KPI] ロールモデル・提言を外部発表

※ 本事業の支援対象は「大堀相馬焼」全体となりますが、代表して「大堀相馬焼 松永窯」がエントリーしています。